

# 議会だより

～“まち”の動きがよく分かる！～



通年議会  
第4・5回会議

平成29年度一般会計決算状況 ..... 2～5P  
平成30年度一般会計補正予算 ..... 6P  
一般質問に12人が登壇 ..... 8～13P

第5回会議は、9月4日から14日まで開会し議案7件、認定8件、報告7件を審議した。

一般質問は12人の議員が登壇し、町政全般について質問した。(P8~P13)

# 031万7千円の黒字

3,544万2千円を翌年度に繰り越す。

政策によって支出  
された経費 (55.3%)

支出が義務づけられた経費  
(44.7%)



Q:あさぎり町の財政は  
健全なの？

A:自主財源比率は25.0%で昨年より低くなっています。  
しかしH29年度は赤字が生じていないため財政調整  
基金の取り崩しがなく、財政状況は『健全段階』に  
あります。

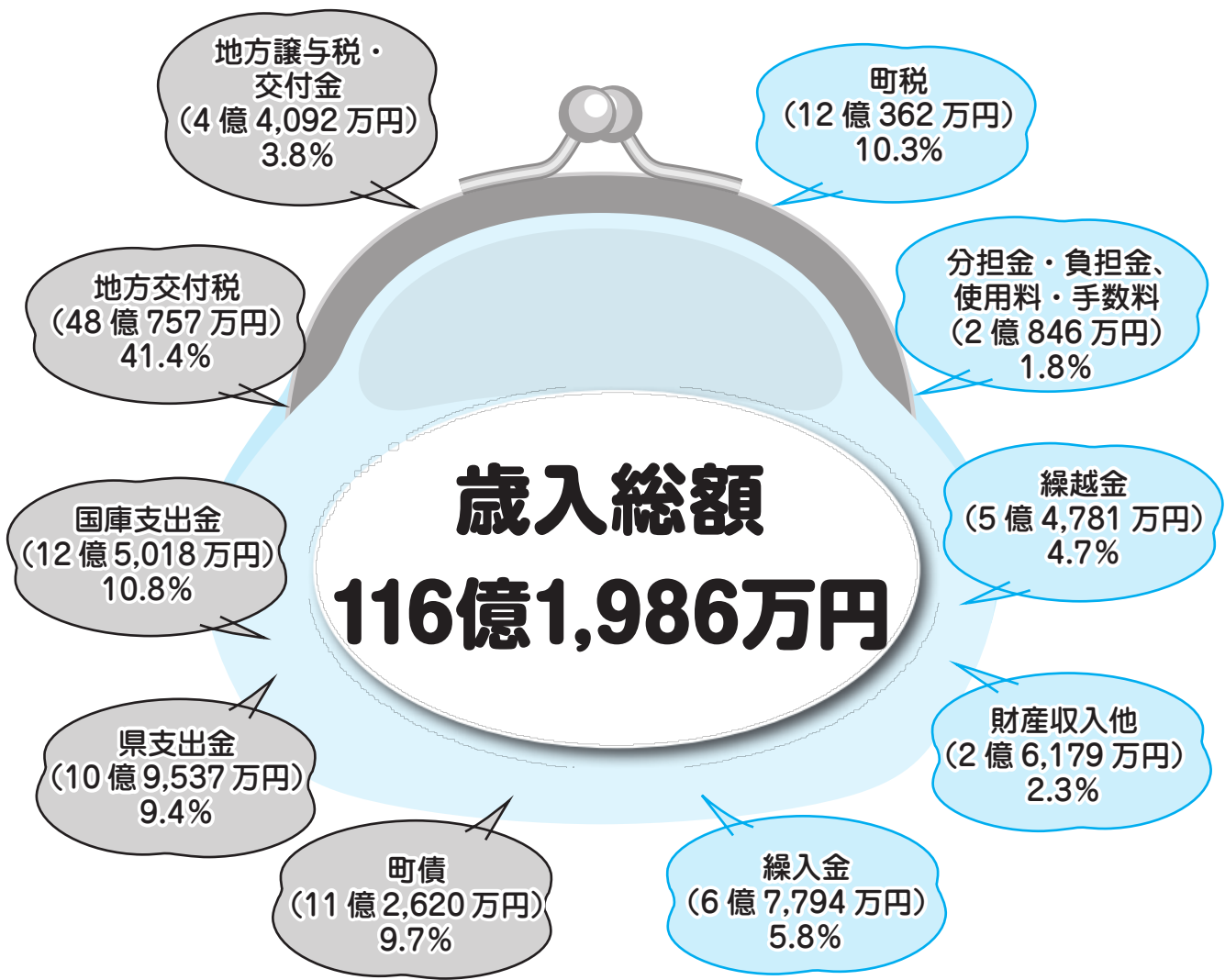


# 実質収支額は4億8,000万円

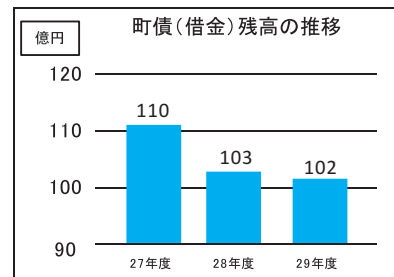
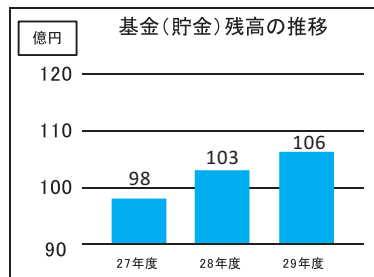
差引残額5億1,575万9千円のうち

依存財源 (75.1%)

自主財源 (24.9%)



監査委員の意見書については、一般会計・財政構造・財政分析を詳しく述べられています。詳細はあさぎり町役場ホームページをご覧ください。



※端数切り捨て、億単位で表示

# 平成 29 年度収納状況

## 税金や使用料等の滞納総額

# 1億9,283万円

町税	8,287万円	143万円増 (前年度比)
国民健康保険税	5,932万円	1,332万円減 (前年度比)
保育料	630万円	216万円減 (前年度比)
公営住宅使用料	1,651万円	133万円増 (前年度比)
介護保険料	578万円	70万円減 (前年度比)
下水道使用料	693万円	91万円減 (前年度比)
下水道分担金	187万円	69万円減 (前年度比)
水道使用料※	867万円	548万円増 (前年度比)
後期高齢者医療	42万円	61万円減 (前年度比)
奨学基金貸付金	416万円	51万円減 (前年度比)

※水道使用料滞納額は H29 年度に簡易水道を水道事業に統合しましたが、滞納額の増減は H28 年度事業統合前との比較となっています。(端数切り捨て)

### 平成29年度決算審議内容の抜粋

#### 総務文教常任委員会所管課分

(総務課・会計課・企画財政課・教育委員会)



生涯学習センター内の備蓄品倉庫

**問** 旧東庁舎の活用は示されないまま放置されている。適正に管理すべきではないか。

**答** 規則に基づいて、適切な管理が必要と認識している。今後は、公有財産利活用審議会で、活用方法を検討していく。

**問** 生涯学習センターにある緊急災害備蓄品の整備状況は。

**答** 備蓄計画を定め毎年度整備しているが、まだ計画に達していない備蓄品もある。

**問** 災害備蓄品は何人を対象にしているのか。

**答** 人吉盆地南縁断層地震における想定避難者数は計画で2,352名と算定している。

**問** 避難者世帯でレッドゾーン（土砂災害特別警戒区域）の世帯数は175世帯である。

**答** 防犯対策の防犯カメラの状況は。

**問** 運用利用の実績は、条例・規則の規定に基づき6回映像の閲覧を行った。行方不明者の捜索に2回、警察資料へ4回提供した。

**答** 公共施設個別計画策定及び公共マネジメントシステム導入の成果は。

**問** マネジメントシステムの報告書を分析し、2020年度までに個別計画の策定に向けて進めていく。

**答** 光ファイバーの委託契約先の会社が譲渡された。今後、不都合は起きないのか。

**問** イクストライド(株)の代表取締役が交代し宇城市のO氏が就任。今後も継続して行うとの確約をいただいた。

**答** 文化財の補修ができる仕組みづくりは。

**問** 文化財に指定されているか否か。政教分離と言う部分があり大変厳しいが、今後、検討させていただきたい。

## 厚生常任委員会所管課分

(税務課・町民課・生活福祉課・高齢福祉課・健康推進課)

**問** 町税の徴収成果は。

**答** 町民税については県下45市町村中8位である。

**問** 固定資産の相続放棄による税の徴収対策は。

**答** 裁判所に申し立て、相続財産管理人から徴収する方法もある。

**問** 不燃物選別及び処分運搬業務委託で資源有価物の売却益はこの収入になるのか。

**答** 委託業者の収入になる。

**問** 町が行っていた粗大ごみ回収事業を取りやめた理由は。

**答** 町民が直接業者に委託しても手数料は変わらないので取りやめた。

**問** 子育て支援「病後児保育事業」の成果は。

**答** 上中球磨4町村で公立多良木病院企業団に委託しており、年間利用者は549名で町内は延べ267名が利用している。



公立病院の病後児保育事業

**問** 放課後児童健全育成事業費（学童クラブ）が昨年より増加しているが対象者増によるものか。

**答** 7クラブで対象人員が254人に増えた。

**問** 子供医療費助成事業費が減少している原因は。

**答** 子供数の減少と支払い制度の変更によって、コンビニ受診が減ってきている。

**問** 住民健診で、要精密検査者数が高いのはどのような方々か。

**答** 糖・血圧・中性脂肪の高位の方。特に乳がん検診、大腸がん検便検査による要精密検査の割合は高い。

## 建設経済常任委員会所管課分

(農林振興課・農業委員会・商工観光課・建設課・上下水道課)

**問** 中山間地域直接支払い交付金事業、多面的機能支払い交付金事業の成果は。

**答** 40組織と25組織の事務を農業支援センターで対応し、広域化による資金の有効活用ができています。

**問** 集落営農生産組合の法人化の進捗状況は。

**答** 各地区で、法人化に向けた組織が立ち上がっている。免田地区では2地区が県の補助を受けて勉強会を重ねている。

**問** 林業活性化協議会の取り組みと成果は。

**答** 4〜5年前に立ち上げ活動してきたが、近年取り組みが弱くなっている。町の大きな財産である山を生かすために組織の強化を図り今後の活動をお願いする。

**問** 商店街駐車場（ポッポー館東側）の借り上げ費90万円の効果は。

**答** 保証料3ヶ月分と借地料3ヶ月分。平常時は2〜3台、ポッポー館利用の時は20台程度止まっているが、集計は

取りまとめていない。

**問** 道路維持作業はもっと効果的な方法を検討すべきではないか。

**答** 人的不足により手が回らないときがある。今後は、大型アームによる作業を検討したい。

**問** 通学路の最重要な路線である今井中学校線の整備状況と完成年度は。

**答** 用地交渉が難航しており進捗率は39%。完成年度は設定できていない。



用地交渉が難航している今井中学校線

1億2,805万4千円を追加し

総額

106億8,581万3千円

- ・ 6月、7月の風水害被害の災害復旧にむけて  
農地・公道の測量設計 **1,250万円**
- ・ 有機センター<sup>かくはん</sup>攪拌機の老朽化による更新  
**2,948万4千円**
- ・ 大阪ブロック壁倒壊事故後の調査により、岡原小学校  
プール側ブロック壁改修(14ページ参照) **582万円**
- ・ 深田せきれい館への西側進入路拡幅工事 **670万円**  
(14ページ参照)
- ・ 財政調整基金積立金 **4,015万9千円**
- ・ 緑の産業再生プロジェクト促進事業補助金 **998万円**
- ・ くま川鉄道経営安定化補助金 **618万円**

## 条例の制定及び改正

抜粋

### あさぎり町災害見舞金支給条例の一部を改正する条例の制定について

被害の実情に応じた見舞金を支給するため支給要件を改正された  
 納屋等が全壊又は全焼した場合 20万円  
 納屋等が半壊又は半焼した場合 15万円  
 その他の被害については、被害の程度により町長が別に定める

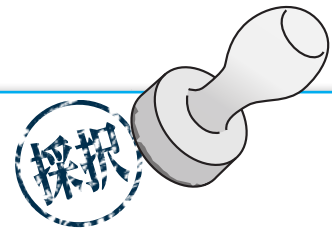
### あさぎり町過疎地域自立促進計画の変更について

子ども医療費助成事業  
 重度心身障がい者医療費助成事業が事業計画に追加された

### あさぎり町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

(15ページ参照)

## 要望書（住民・商工会）



- 百太郎溝沿線通学路の拡幅改善要望書について
- 「生産性向上特別措置法」に基づく導入促進基本計画の策定及び固定資産税の特例措置に関する要望について

### ■第5回会議 表決一覧（抜粋）

議案名	議員名	市岡	難波	加賀山	橋本	久保	小出	森岡	豊永	永井	皆越	小見田	奥田	久保田	溝口	徳永
平成29年度あさぎり町一般会計歳入歳出決算の認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度有限会社あさぎり町ふるさと振興社の経営状況の報告について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## もっと伝わる 議会だよりへ

広報調査特別委員会委員長 難波 文美

## 町づくりに どう活かす

総務文教常任委員会委員長 久保田 久男

10月9日（火）東京都千代田区の砂防会館にて全国町村議会広報研究会が開催され、広報委員6名と議事事務局員1名が参加した。

- 読み手に伝わる文書の書き方
- デザインの力でもっと伝わる議会広報誌
- 優秀賞作に見る光彩を放つ編集力

という3つのプログラムについて専門家の視点から多くの学びを得た。ワークショップ形式の講義では、委員自らの感覚を問われ再認識できる大変興味深い取り組みができた。今後の議会だより制作に活かせるよ



斬新なアイデアと行動力で町づくりを！

10月4日（木）熊本県町村議会議長会の主催で嘉島町民会館において

### 平成30年度 町村議会広報研修会



2日間で全国205町村議会が参加した広報研修会

「地方創生とまちづくり」について講演会が開催された。講師に、徳島県上勝町の「株いろどり」横石知二社長を招聘。上勝町は、「葉っぱ」産業が有名で、今や国内はもとより世界からも注目されている町である。昨年は、58カ国からの視察があった。氏の40年間の奮闘は大変な道のりであったと思う。

情報と仕組み、人が活躍できる舞台づくり。また新たなコミュニケーション。高齢者福祉の在り方等々、これからの私達の町づくり地域づくりの手本となる講演会であった。

うさらに努力研鑽を積みみたい。

## 問

### あさぎり町長選挙に対する町長の考えは



奥田 公人 議員

**奥田** 愛甲町長は、平成19年4月に実施された、あさぎり町長選挙に当選されて以来11年5カ月の間、常に前向きな町政を執行して来られた。

あさぎり中学校の統合を始め、上財産区のあさぎり町への移譲やヘルシーランドの改修、温華乃遙温泉の介護施設への改善計画等と大きな事業に取り組んで来られた。

また公立多良木病院企業団の開設者協議会会長として優れた手腕を振るい経営改善に努めて来られた。特に、愛甲町政の中で、私が高く評価している点は、特定の派閥にこだわらず、町民や役場職員に対しても常に優しく平等に接してこられたことだと思ふ。このような体制は愛甲町長の人徳であり、誰にも真似のできない取り組みだと思ふ。



統合されたあさぎり中学校

愛甲町長には是非あと一期はあさぎり町長として頑張っていたほしいと思ふ。愛甲町長が当初から提唱されていた「若い人が残れる町づくりに」、最大限の努力を注いでいたほしいと思ふ。

**町長** 正直言っているんな声が届いている。わたしがやってきたことが継続できるかどうかを様々な角度から見極めてみたい。

## 問

### 土砂災害警戒区域等(免田岡留)及び黒田公民分館周辺整備は



豊永 喜一 議員

**豊永** 今年は6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨、命にかかわる様な猛暑と数多い台風の襲来等、何もかもが想定外の自然災害に見舞われ、今や自然災害は全国各地どこでも起き得る現象が続いている。災害対策基本法に基づき、町では地域防災計画書が策定されているが、

その中で、土砂災害警戒区域等の指定が町では、99箇所あり、免田地区で1箇所となっている。対象周辺地域では、台風・大雨等がある度に急傾斜地の崩壊等、不安が増している。

不安解消・安全・安心の確保のための現状と対策を問う。また併せて黒田公民分館周辺の整備状況・計画を問う。

**町長** 来年度にしっかりと



土砂災害警戒区域等(免田岡留)周辺

りと整備方針を決めて予算化していった方が地区全体に話が伝わるので、補正予算までかけてやるには早過ぎる。岡留公園は、今後町の大事な公園として位置付け、安全な遊具を整備しながら良い場所にしていきたい。公園の位置付けを明確にし、そこから本格的に里道等の側面の補強整備をやっていききたい。

#### その他の質問

・来春の町長選挙出馬について



## 問 森林資源の今後の保存活用は



市岡 貴純 議員

**市岡** 町の66%にあたる森林資源を今後どの様に活かすのか、森林保全計画（治山・治水・防災等）、後継者対策、森林セラピーの活用、森林の活用による交流人口を増やす考えを問う。

**町長** 保全の目標を持って、5年間ごとの森林整備計画等に基づき進めている。

**農林振興課長** 球磨中央地区林業活性化協議会を立ち上げ、空からのレーザ計測を行い、最新の技術で地理空間情報や情報通信技術を活用し、森林情報の共有化を行い、今後の施業や受給マッチングの省力化、効率化を目指し進めていく。又、後継者対策について林業関係の従事者も大変厳しいが、29年10月に積み立てた基金を、担い手育成や、機械導入等に活用し、



林業大学校が設置される五木村役場

又、林業大学校の開校もある為、支援策を検討する。森林セラピーについては、白髪岳や高山、ピハ公園等を有効に活用し交流人口の増加を図る事が大事。

**商工観光課長** 水上村が森林セラピー認定を受けているが、多大な手間と高額な予算を必要とする為、慎重に検討する。

**教育長** 先般のくまっこリーダー研修において、子供達の森林活動を行ったが、山に触れ、教育的意義も高いと考える。

## 問 農地の管理状況は



永井 英治 議員

**永井** 遊休農地解消の現状は。

**農業委員会事務局長** 農地パトロールを行い、無断転用や遊休農地の発生防止に取り組んでいるので遊休農地の割合は0.6%に抑えられている。山間部の森林化等で農地に復旧できないようであれば、非農地と判断している。

**永井** 農道または河川の除草管理を考えると農業支援センターのアーム型草払い機の利用がより有効だと考えるが、2台目購入の考えは。

**副町長** 除草作業については、センチピードグラスの実証等でまずは草を生やさない考えが大事だと思うが、まだ良い情報は入っていない。アーム型草払い機2台目購入については今はまだ早いと思うが、今後試算をして必要ならば単体の導入も含めて検討したい。

※センチピードグラス  
水田の畦や法面などの雑草を抑制し、除草作業を軽減化する芝の一種。



高性能のアーム型草払い機

**永井** 教育長になられて2か月が経過したが、教育振興基本計画策定から6年目の思いは。

**教育長** 教育長としての基本姿勢として「至誠と輝きの教育」の推進をかげている。今後とも子供たちや地域住民の皆様の能力や良さを認め、褒め、励まし、伸ばす活動等を通して自己肯定感を高め、子供も地域住民の皆様方も一人一人が光り輝く教育行政を推進したい。

## 問 地域コミュニティの在り方は



久保田 久男 議員

**久保田** 須恵地区の諏訪神社では社務所が老朽化したために解体・新築の計画がされているが、資金不足等課題があり総代の方々が大変苦慮されている。これらに対する手立てはないか。  
**教育課長** 神社本殿は県の指定文化財だが、指定物件でない場合は補助対象にならない。

**久保田** 特に、屋根・トイレ等の改修は急を要するところで、他地区の社務所も今後同様の課題が出てくる。地域のコミュニティの場所として、町独自でやれる方法はないのか。

**総務課長** 諸般の事情、実情を慎重に判断した上で対応するべきものと考えている。

**久保田** 当地区では、「和綿の里づくり」事業が展開されているが、殆どがボランテアで賄われているため、今後継続していくために、町の出生祝い金と合わせて和綿の製品と一緒に送ることはできないか。



改築計画中の諏訪神社の社務所

**生活福祉課長** 今後、健康推進課とも協議を行いたい。  
**久保田** 住民協働による環境整備事業と今後の取り組みとして環境美化コンクール等はやれないか。  
**町長** 地域の美化活動は、もつとやっていければと思っ

## 問

## 皆越地区に地域おこし協力隊の配置を



溝口 峰男 議員

**溝口** 皆越地区は、高齢化率が町内で一番高く22戸、51人の集落である。その中で中山間地域が1集落あり9戸が参加している。今年から標高450mの山腹を掘削して田畑を潤してきた4kmの中村溝が維持管理できず生活・農業用水の確保が出来なくなった。しかしこの地域は農業振興地域に指定されている。この現状を踏まえどのように振興していくのか。

**町長** 様々な振興策を考えてきたが提案するところまで行っていない。住民の意見を十分に聞いて対応したい。

**農業委員会会長** 4kmに及ぶ水路の確保は町にお願いしたい。これから先、夢が持てる政策を委員と話し合いながら提案していきたい。

**農林振興課長** 農業振興地域の見直しを進め栗等の作付けもお願いしたい。

**溝口** 鳥獣害対策のための防護柵の設置は。

**農林振興課長** 電気柵・防護柵の資材支給事業で対応したい。

**溝口** 皆越地区の振興には、地域おこし協力隊の配置が大きなカギとなる。9月議会で要望したが実現していない。

**町長** 予算は可決いただいたが募集していない。12月内には結論を出したい。

### その他の質問

- ・林業振興について
- ・通学路安全対策について



耕作放棄地対策が急がれる皆越地区

※一般質問の文章については、質問者の責任においてそのまま掲載とします。

問

ふれあい福祉センター(温華乃遥温泉)閉館後の活用策は

**小見田** 温華乃遥温泉センターの再編については、3回にわたり岡原住民を中心とした団体に役職の代表15名のメンバーを加えて意見交換会が催され、30年3月29日に終了した。

その時、今後のスケジュールを町長に伺った際、30年5月頃議会へ説明、その後に住民説明会、そして関連議案を上程し31年3月に杜協を移転し、4月にリニューアルオープン

の予定と聞いている。しかし未だ議会への説明、住民説明会も実施されていない。再編に向けた進捗状況を伺いたい。

**町長** 現時点では、地域の皆様に納得いただける案を見極めきっていない。一歩踏み込んで検討し、9月末

か10月中旬には議会に説明する。  
**小見田** この事についてはコンサルタントに委託料を支払って、提案書



小見田 和行 議員



今後の動向に関心が高まる「温華乃遥温泉」

の作成を委託した。成果品の公表をすべきではないか。

**町長** 残念ながら、議会に説明できる内容に至っていない。

**小見田** スケジュールが遅れた事で、リニューアルまで年度をまたぐ

事があり町長の交代もありうる。再編が不確定になる事を危惧するが。

**町長** 住民の皆様が納得いただけるような内容になるものを検討し説明したいと考えている。

あさぎり版F1会議のキーワードは「女性にやさしいまちづくり」

**加賀山** 女性にやさしいまちづくりは誰にとってもやさしいまちづくりにつながる。今年8月

27日、町長が県内首長初の「よかボス宣言」をされたが、女性管理職の積極登用については、よかボスのマネージメントが関わってくるが。

**町長** 町は定期的に人吉の中小企業大学校に泊まり込みで職員研修を行っている。今回若手職員が参加したが、夕食後にも女性職員が残り意見交換をした。女性も色々な場面で前に出て頑張っているのは良い姿だと思う。

**加賀山** 天草では地域の女性活用の「天草市女性人材バンク」があるが。

**総務課長** 計画の中の目指す目標として掲げているが町にはまだ存在しない。

**加賀山** これからの町を担う人達の中には、町外・郡外・県外から来る人達も多くおられる。



加賀山 瑞津子 議員

町のことがよくわからない方々に対し、まずはその方々が何を望んでいるのか、何に不安や不満を持っているのか、その話を聴く場を設けることがF1会議開催のスタートだと思っ

ている。が。  
**企画財政課長** 今やつと男女共同参画が動き出した。本来なら民間で取り組めるのが一番良いと思う。必要である予算はつけていきたい。  
**町長** 「私が頑張る」と民間が動くなら大いに応援する。

F1会議とは

マーケティング用語で20〜34歳までの女性を示すもの。  
平成26年5月に全国896の消滅可能性都市が発表された。その中に名の上がった東京豊島区が危機感を持ち、住民行政が、一緒になりつくりあげた会議の名称。  
併せて  
**Formula** (フォーミュラ)  
F1レースのようにスピード感をもつて  
**Female** (フェイメール)  
女性  
**Future** (フューチャー)  
未来  
**Fortune** (フォーチュン)  
幸福 の想いも込められている。

## 問 防災危機管理体制の強化は



徳永 正道 議員

**徳永** 東日本大震災、熊本地震、西日本集中豪雨など突如発生する予測不能な自然災害が相次いでいる。これに対応していくには、防災体制の強化が重要と考える。

そこで三点について伺いたい。一点目は防災組織の拠点として防災センターの建設が急務と考える。防災拠点施設整備基本構想業務の発注がされるようであるが、これに基づいて建設計画はあるのか。

**町長** 防災センターを町が必要としている認識は持っている。できるだけ速やかに、大きなテーマとして進めていきたい。

**徳永** 二点目は防災危機管理監の設置について伺いたい。合併して人口も面積も増えていることから、防災危機管理意識を高め安心と安全性を高める為にも、早



首長・議長等を対象に開催された防災・危機管理セミナー（10月9日県庁）

急に設置が必要と考えるが。**町長** 防災に特化した職員を置いており現体制でしっかりとした体系づくりを整えていきたい。**徳永** 三点目は被災された自治体で困った事は仮設住宅の用地の確保だったと聞いている。東庁舎を含め未活用の建物を解体、更地にして用地確保しておく考えは。

**町長** 審議会を通して、災害に資する場所として検討したい。

## 問

## 基金を長期国債で運用する危険性は



久保 尚人 議員

**久保** 金融緩和を続ける日銀だが、これ以上の金利低下を見込めない水準まで来た。金利上昇による長期国債の値下がり時に基金の運用リスクはないのか。

**会計管理者** 保有する11基金106億円を定期預金6、債権4の割合で運用しているが、実質2〜3億円程度が毎年各事業に財源として充当されていくので、少しずつ減少していく傾向にある。**久保** 今までは債券運用で11億円余りの運用益を上げることができたが、今回の日銀の政策発表で金融緩和の潮目が変わりそうだ。今後の超長期国債は長く持てば持つほど値下がりをするリスク債権と考えるが。

**副町長** 超長期債は、できるだけ早く売却をしたい。その後は、既発債で残存が短いもの（10年未満）で運用するのが1番安全だろう。定期預金は一定

額を保有して、債券は各年度の財源不足のところに満期を迎える運用を基本としていく。

**久保** 大規模災害時や財政の逼迫時に預貯金の取り崩しで十分対応できるのか。

**会計管理者** 定期預金でその流動性を確保しており、保有債権を売却をしなければならぬ状況は想定していない。

### 基金と国債を取り巻く状況の説明

欧米が金融緩和の縮小に動く中、これまで超低金利を続けてきた日銀が0.2%までの金利上昇を受け入れ、長期金利は一時0.145%と昨年2月以来の高水準まで上昇しました。

物価上昇率2%を目指して金融緩和を続ける日銀ですが、金融機関の経営への副作用も懸念され、これ以上の金利低下を見込めない水準まで来ています。

今後、金利が上がり始めると購入済みの長期国債の価格が下がり含み損を抱える形となります。

近年は、各自自治体で基金等の運用難から、銀行の定期預金のみではなく、高利回りの各種債券での運用が著しく伸びております。

ただ心配するのは、金利が低いからと安易に超長期の債券に運用の比重を移している点です。

※一般質問の文章については、質問者の責任においてそのまま掲載とします。

問

新教育長の教育行政への取り組みは

**難波** 新教育長の就任にあたり任命責任者として町長が期待する事は何か。また新教育長は学校教育から社会教育まで多岐にわたる教育行政にどのように取り組むのか。

**町長** 前任の教育長には町の教育行政のベースを固めてもらった。新教育長には目標設定ができる、IT化に対応できる、整理整頓のできる子どもの教育3つを目指してほしい。

**教育長** 至誠と輝きの教育を掲げ生きたる力を育む活動を充実させたい。

**難波** 教育の目標や基本方針を策定する総合教育会議があるが住民への公開と周知は。

**教育課長** 会議の内容はホームページで公開しているが、周知はしていない。

**難波** 住民の教育委員会への理解を得るため検討するべき。道徳教育の



難波 文美 議員

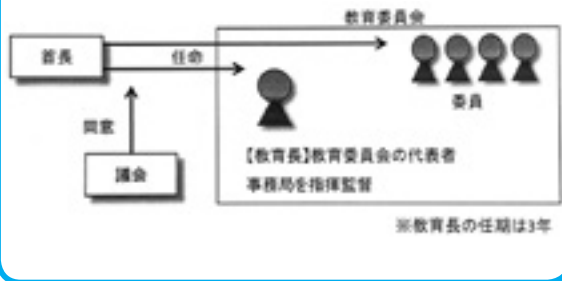
重要性が高まっている。人権、租税、農業と福祉の連携など共生社会を構築する教育活動の取り組みは。

**教育長** 各小学校で体験活動や租税教育を実施しており非常に教育的効果が高いと思う。

**難波** 子供たちが農林業や建設業に誇りを持ち、地元で働くために町の奨学金の貸与条件を整備できないか。

**町長** 地域に残る人を育て活かすためにも県と一緒に有効活用に取り組む。

新教育委員会制度の仕組み



問 地域おこし協力隊の活動は



橋本 誠 議員

**橋本** 体に優しい農産物を使った「食」の企画、観光をコンセプトに関する事業を活動内容とする「地域おこし協力隊」が2名着任しているが、その活動状況は。更に新しく募集する考えは。

**商工観光課長** 共通した活動として町内の各種行事への参加と情報発信。南稜高校との連携事業へ参加。観光面において幸福マルシェを立ち上げ月1回開催している。更にふるさと納税の返礼品の開発と子育てサロンにおいて料理教室の開催や子供食堂の設置に向けて考案中である。

**町長** 地域おこし協力隊の1名増については予算は確保しているが採用と配置については検討したい。

**橋本** 地域住民の生命と財産を守るために、消防団やあさざり防災協会の協力が大きな力と

**総務課長** 工事入札を行う場合、参加資格審査の格付を行う工事の種類や規模に応じて地理的条件を考慮しながら町内業者を第一優先に指名を行っている。



ビーガン（動物性の食材を含まない料理）を通し、からだに優しい食事を提供

# 常任委員会及び一部事務組合報告

## 総務文教常任委員会

○7月24日(火)

須恵文化ホール現地視察について

文化ホール天井は特定天井に当たることから、今後の対策として文化庁委託事業を活用し専門員を派遣いただき、修繕・助言を行ってもらう予定。また、空調の老朽化、LED化等大規模な改修計画を策定する予定。

公民分館等施設整備費補助について

公民分館の新築の補助見直しについては、これまでの地区3分の2、町3分の1から、再々の検討要望を受け地区負担を10%に下げ、用地購入については2分の1の補助で検討している。委員会としては、この再検討案を全会一で了承する。

公共施設ブロック塀の調査結果について

町内公共施設の一斉点検の結果、不適合ブロック塀が4施設4件あったが、良好な状態であり緊急性のあ



危険と判断した岡原小のブロック塀

る学校施設においては、補正予算で対処する。

○8月27日(月)

せきれい館西側進入路整備事業について

本施設への進入については、道路幅員が狭く大型バス等の進入に苦慮しているため、進入路を新設する。用地については一部寄付の予定である。

## 建設経済常任委員会

○8月1日(水)

薬草合同会社施設事業について

ミシマサイコの根の収穫が2年ものになり、それに対応出来る掘取機、洗浄機、出荷時の梱包機導入。今後、加工所の年間活用の新規品目を検討中。他2件の事業について。

要望書が出ていた付託案件の審査

「生産性向上特別措置法」に基づく導入促進基本計画の策定及び、固定資産税の特例措置に関する要望。百太郎溝沿線通学路の拡幅改善要望。

この2件について協議・審議の結果、委員会として採択すべきものとした。

○8月2日(木)

合志市J-T日本たばこ産業早期買入れ状況視察

当日は岡原地区の生産者立会いのもと買入れが行われる中、視察を行った。検査官により一梱包ずつ厳選な買入れが行われていた。これまで年2回買入れであったが、来年より1回となる。



駅前駐車場現地調査

○8月27日(月)

駅前駐車場整備現地調査

商工観光課より駅前駐車場の整備、現状説明あり、外灯2ヶ所設置、駐車台数40〜50台を確保出来る広さになった。委員会として、残地について今後、景観も考え雑草が生えない対策が必要である。

## 厚生常任委員会

○7月27日(金)

「よかボス宣言」と子育て支援システムについて

「よかボス」とは自ら仕事と生活の充実に取り組みとともに、共に働く社員や職員・従業員等の仕事と生活の充実を応援するボスのこと。あさぎり町長も「よかボス宣言」を公表。

子育て支援システムとは、熊本県が開発したAI(人工知能)による子育て相談システム。子育ての困りごとについて、LINEで尋ねると24時間365日回答や情報が得られるしくみ。



県内首長初の「よかボス宣言」

## 公立多良木病院企業団議会

○8月9日(木)

第2回臨時議会が開催され、承認1件、議案1件を原案通り可決した。

主なものとして、労働基準監督署は正勤告分時間外手当等の増額補正、LED照明工事を、レンタルから購入への予算組み替えを行うものであった。

○8月31日(金)

第3回定例会が開催され、議案4件、決算認定1件が原案通り可決され、9月25日まで延会となった。

主なものとして、平成29年度の病院3事業の決算認定で8,746万5千円の純損失となった。

## 人吉球磨広域行政組合議会

○8月24日(金)

第3回定例会が開催され、承認1件、議案3件を原案通り可決した。

専決処分品の主なものとして、特別養護老人ホーム福寿荘特別会計補正予算で、耐震改修について県の補助事業の助成対象となることから計画書等の作成分として1,276万円が計上された。

平成29年度決算特別委員会が設置され、委員長にあさぎり町選出の加

賀山瑞津子議員が選任された。

## 上球磨消防組合議会

○7月31日(火)

第2回臨時議会が開催され、同意1件、議案2件を原案通り可決した。消防庁舎等改築工事請負契約の締結相手方 味岡・丸昭建設工事共同事業体

契約金額 7億1,820万円  
工期 平成31年4月26日まで  
高機能消防指令台システム整備及び消防・救急デジタル無線設備移設事業契約の締結

相手方 三球電機株式会社福岡支店  
契約金額 2億5,272万円  
工期 平成31年6月28日まで



「住民の財産と安心・安全を守る」  
新しい庁舎建設いよいよスタート



# 町民の声

## この環境に感謝!



上(平和)  
しもかわ 下川 希世 さん

あさぎ町上地区に住んでいます下川希世です。

私は4年前から免田の弓道場で稽古をしています。この弓道場は時間に関係なく利用できますが、私の場合は仕事を終え家事を済ませてからなので夜に通っています。

弓道場は免田総合グラウンドの隣にあり、隣のグラウンドではサッカーやソフト、野球などの練習をされている方たちがいるので、夜でも人が集まる環境の中にあります。ですから、弓道場で一人のときも安心して稽古ができます。弓道は弓と矢と的があればできる競技です。弓道の魅力は1人でも多人数でもでき、老若男女問うことなく同じフィールドで競技ができることです。無理なく楽しく自分のペースで稽古ができています。

## 地域の子供たちに願う事

私は今、JA 青壮年深田班の班長をしています。JA 青壮年の活動として、小学生との米づくり、芋づくりなどがあり、子供たちと一緒に農作業をすることがあります。一連の作業を通じ、少しでも農業に興味を持ってもらい、子供たちの心の成長に繋がればと思いますし、更には将来、あさぎ町が好きで地元に残り、いろいろな形で地域を引っ張っていくリーダーに育てられることを願いながら活動しています。

これからも、地域の方々と共に様々な活動を通じて子供たちの成長に携われればと思います。そして、自分自身もこれらを通して日々成長していきたいと思っています。



深田(下里)  
いたばし 板橋 裕之 さん

## 編集後記

近年、自然災害(地震、豪雨、台風など)が頻繁に起こるようになっていきます。いつ、どこで起こるか想定できません。備え(安全・安心の確保)の大切さを痛感しています。

日頃からの備災・減災をはじめ、住民一人一人の意識向上と、避難するようなシステムの構築の必要性を感じています。

実りの秋を迎え、町民の皆様にとって穏やかな日々でありませう様に祈っています。

今後共、読みやすくわかりやすい広報紙づくりに努めてまいりますので、ご指導方よろしくお願致します。

(橋本 誠)

編集・発行責任者  
議長 山口 和幸

広報調査特別委員会  
委員長 難波 文美  
副委員長 橋本 誠  
委員 溝口 峰男  
久保田 久男  
加賀山 瑞津子  
市岡 貴純

☆お願い☆ 「議会広報」の腕章をした議員が、写真撮影等でお伺いして取材をします。議会広報に掲載することがあります。ご理解とご協力をお願いします。



あさぎ町議会だよりはホームページでもご覧頂けます。

発行/あさぎ町議会 編集/議会広報調査特別委員会  
〒868-0422 熊本県球磨郡あさぎ町上北1855番地  
TEL(0966)47-0312・FAX(0966)47-0265  
E-mail: syoki-gikai@asagiri.kumamoto.jp 印刷: ㈱ノーヨーグラフィックス